

令和 6 年度かながわコミュニティカレッジ講座実施状況（中間報告）について

(仕様書第 3 号様式)

かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書

令和 6 年 4 月～6 月分

(令和 6 年 6 月 30 日現在)

1 業務の名称

令和 6 年度かながわコミュニティカレッジ運営業務

2 実施した業務の内容等

実施日時	実施方法・内容等	備考
4 月 1 日～ 6 月 30 日	<p>○講座開催計画等の策定</p> <p>○講座企画実施団体への支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度講座企画提案団体に選定結果通知を送付した（23 団体・29 講座）。 ・令和 6 年度計画講座の企画実施団体又は講師と打合せをする等、講座開催時期や内容等の調整・確認を行い、年間開催計画を策定した（34 講座）。特にコミュニティカレッジでの講座実施経験が少ない団体には講座カリキュラムや運営について個別に相談・助言を行った。 	
4 月 1 日～ 6 月 30 日	<p>○受講生募集のための広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間開催計画をもとに、広報用パンフレット『令和 6 年度年間講座スケジュール』を作成、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した（送付先 約 700 件）。 ・パンフレットは表紙デザインを改訂、中面に修了生インタビュー記事の抜粋を掲載した。インタビュー記事の全文はホームページ上に掲載した。 ・主催講座、連携講座、特別講座の募集チラシをそれぞれ作成、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した（作成数 13 件、送付先 約 700 件）。 ・講座情報を下記の媒体を通じて告知した。 県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ（県の HP 及び当団体運営 HP）、講座修了生向けメール、基金事業課・NPO 協働推進課のメールマガジン、県の Twitter、Facebook、Peatix、県民センター 1 階デジタルサイネージ、市民活動支援センター・社会福祉協議会の WEB 広報への依頼等 ・「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」の会合に参加し、年間講座スケジュールや募集チラシを配布した。 	

6月15日	<p>○ボランティア活動未経験者層の参加促進講座（特別講座）の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動未経験者層を主な対象とする参加無料のオンラインセミナーを開講した（参加者 53 名）。 	実施概要、アンケート結果は別紙参照
4月1日～6月30日	<p>○修了生の地域・社会活動への参加促進や活動支援など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の受講生（メール配信希望者）と、県のホームページ経由で申込のあったメール配信登録者に宛て、講座情報やボランティア活動相談窓口の案内を掲載したメールを配信した。（配信件数：3,921 件 ※不達除く 6月27日配信） ・前年度講座受講生へのフォローアップ活動として講座実施団体が企画した活動見学会に同行した。また、講座修了生によるグループ活動の講義室利用の受付や助言などを行った（現在7つのグループが活動中）。 ・講義室1の外壁を利用したコミュニケーションボードに、市民活動支援施設で開催される講座案内、令和5年度修了生の近況報告など、受講生の今後の活動に役立つ情報を掲示した。 ・県内の市民活動支援施設、社会福祉協議会等が定期的に発行している情報紙を、2つの講義室内に設置しているラックにそれぞれ配架して、受講生の活動に役立つ情報提供を行った。 ・令和5年度講座修了生を対象にアンケート調査を実施。修了生総数 497 名（延べ修了者数 592 名）にアンケート紙を郵送し、回収・集計作業を進めている。1講座のみ受講者（428 人）には WEB フォームからも回答できるようにした。 ・アンケート調査時に「近況報告シート」を同封し、多くの修了生から活動状況や近況報告の返送があった。「近況報告シート」は、講義室1の外壁を利用したコミュニケーションボードに掲示している。 	

3 その他報告事項、所見など

(1) 令和6年2月26日開催の「かながわコミュニティカレッジ運営業務委託団体選考第2次審査」で、委員からいただいた意見を受けて実施した事項

- ・ 「シニアライフアドバイザー養成講座」を県のホームページ上に、今年度初めて開講するトピック講座として告知。
- ・ 社会情勢やニーズの変化などに対応した新たな視点を取り入れられるよう、講座実施団体や講師と相談してカリキュラムを調整した。下記講座では、能登半島地震を契機とする防災・減災意識の高まりに応えられる内容を加えた。

「災害ボランティア入門講座（オンライン）」

能登半島地震における災害ボランティアの経験談や、能登半島地震災害支援ボランティアバスに関する情報提供をする予定。

「共助の地域づくりを推進する講座」

災害時に浮彫となる地域のつながりを見つめなおし、日頃から防災・減災を意識して共生・共助の地域づくりを進めるため、適切な講師を人選いただいた。

- 下記の防災講座は、湘南・県西地域の方の参加を促進するため、中間支援組織である「ひらつか市民活動センター」にご協力いただき、平塚市内で講座を開講する。

「防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）」

防災に関する知識を子どもたちに伝える防災教育ファシリテーターとして必要な防災知識を実践的に学ぶ講座。特に沿岸部の避難行動を考えるワークショップ（逃げ地図）は、地域の特性や地形を知る重要な学びとなる。

- セキュリティガイドラインの講座実施団体への提示
個人情報漏洩防止対策については、仕様書「12 各業務に共通する業務実施上の留意事項（5）個人情報等取扱体制に明確化」に従って、具体的な対策を県に提出しているが、主催講座・連携講座の講座実施団体にながわコミュニティカレッジの個人情報に関わるガイドラインとして示すこととした。
主な内容
 - ・ 個人情報の取得時、転記時、受講決定通知等の封入、送付時の確認事項
 - ・ FAX送信時、電子メールの送信時の確認事項
 - ・ 保管・廃棄の際の確認事項
 - ・ 再委託、講座企画実施団体に対する注意喚起 など
- 「神奈川県社会福祉協議会（かながわ県民センター11階 ボランティアセンター）」で、チラシ配架等のご協力をいただいた。また、コミュニティカレッジ講義室や廊下壁に、県社協様よりいただいた情報を配架、掲示し連携を図った。
- 障がいのある方に安心して受講申し込ただけできるよう、「かながわコミュニティカレッジ講座におけるバリアフリーの推進」について、講座募集チラシ及び神奈川県のコミュニティカレッジホームページに明記した。

「かながわコミュニティカレッジ講座におけるバリアフリーの推進」

かながわコミュニティカレッジ講座では、障がいのある方でも安心して受講いただけるよう、配慮を行います。

詳細については、講座を申し込まれる前にかながわコミュニティカレッジ事務局までお問い合わせください。

【聴覚障がいのある方】手話通訳や要約筆記者の依頼

【視覚障がいのある方】盲導犬を連れての受講に配慮

【弱視の方】配布資料をA3に拡大し、一番前の席を確保

【車いすをご利用の方】講義室内の動線確保、多目的トイレのご案内 など

(2) その他

- 横須賀市では、令和5年度より「市民公益活動人材育成研修受講奨励金」として、かながわコミュニティカレッジを受講する横須賀市民に奨励金が助成される制度が始まった。制度に関する

資料 3 - 2

る案内をチラシに記載し、受講決定通知を送付する際に、横須賀市民の受講生に奨励金の案内を同封している。

- 令和6年度より受講料の納付方法が、電子納付と納付書納付の2種類から選択可能となった。手続きや発送に関する手順が増えたが、現時点で大きな混乱はなく準備を進めている。電子納付の利用者はまだ少なく、引き続きチラシ等で周知をしていく。

以 上

(別紙)

実施概要「人生を豊かに過ごすための地域での支え合い・助け合い<オンライン講座>」

講座タイトル：人生を豊かに過ごすための地域での支え合い・助け合い<オンライン講座>

日 時：6月15日（土）13:30～15:15

会 場：Zoomによるオンライン開催（希望者は講義室での視聴も可）

内 容：第1部 特別講演 『見つけてみませんか？知り合い以上、友人未満の「ゆるやかな人間関係のうまれる場 ～今からできるあなたの「種まき」』

講師：澤岡 詩野 氏

（東海大学健康学部健康マネジメント学科 准教授）

コミカレ講座体験談（令和5年度受講生2名）

第2部 令和6年度かながわコミュニティカレッジ講座の紹介（コミカレ事務局）

受講料：無料

定 員：50名

参加者：53名（申込み60名） 講義室での聴講希望者は無し

以下、参加者アンケート結果（回答40人） ※現在アンケート受付中のため中間報告

【参加者属性】

- ・回答者は男性16人（40.0%）、女性24人（60.0%）。年齢層は60代が最も多く16人（40.0%）、次いで50代12人（30.0%）、40代と70代が4人（10.0%）、30代3人（7.5%）からの回答があった。
- ・回答者の29人（72.5%）がコミュニティカレッジの受講がない方であった。
- ・ボランティア活動の経験がある人は33人（82.5%）、経験がない人は7人17.5%であった。
- ・セミナーを受けて地域活動に「参加したいと思った」は20人（50.0%）、「既に参加している」が14人（35.0%）であった。

【参加者の感想（抜粋）】

- ・全般的に学べる講座が多くあることを再認識させていただきました。
- ・澤岡先生のお話で、活動メンバーの増やし方のヒントをいただきました。昨年参加のお2人には、具体的な内容をお聞きできて大変参考になりました。受講に興味を持ちました。
- ・修了生のお二人のお話は臨場感があって大変良かったです。
- ・人生100年時代と言われる中、子育ても落ち着きこれから地域に貢献して新たな生きがいを探したいと思い受講しました。ボランティアに参加したいのだけれどどこから始めれば良いかわからなかったのが、良いきっかけになったと思います。
- ・知的好奇心が刺激されました。コミカレという存在を知る機会になって良かったです。
- ・講座は具体的で分かり易かったと思います。受講体験を語ったお二人の話も良くまとまっており参考になりました。
- ・人生を豊かに過ごすため、コミカレの可能性を感じました。
- ・「今とは違うボランティア活動がしたい、でも…」と迷いを抱えしり込みをしている自分の背中をそっと押してくれるような、素敵な講座でした。受講できて本当に良かったです。
- ・今自分が置かれている場所で日常的に出会う人だけではなく、様々なバックグラウンドを持つ方達と出会い、色々な考え方や課題を聞く機会を求めて、何かの講座を受講してみたいと思いました。
- ・高齢になり年を重ねるごとに仕事や家族とのかかわりが薄れ、気が付いた時には家に引きこもり、外とのつながりがなくなっているようなそんな10年後、20年後を描いていましたが、澤岡先生に講演を聴き、日常生活での楽しみとは、共感するとは、居心地がいいとは、など、自身に問いかけるきっかけを教えてくださいました。